

OPINION

中部経済新聞

「チゲーター」

ルワンダの紅茶品質は世界的な基準といっても過言ではなく、茶産業は前回紹介したコーヒー産業よりもはるかに世界の舞台で輝き続けています。茶葉を砕き、ちぎり、丸める「CTC」製法で作られた紅茶は世界でも最上位にランクされ、澄んだ明るさを持ち、香り高く、最高品質で知られています。

これは紅茶にとって最適な生育環境、正しい摘み方の励行、近代的な加工設備のもたらした結果です。紅茶は、国際的なオークションで高級品としての値が付き、世界的なブランドのブレンダーに選ばれ

日本への期待 世界各地から

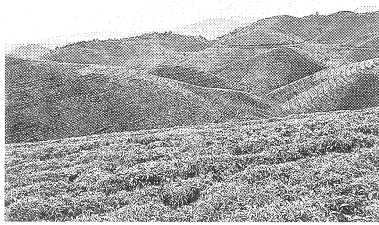
171

コーヒーから紅茶その背景まで

わが国は、また高級な生鮮産品を取り扱うハブとしても成長しつつあります。ルワンダの農業輸出に関しては飲料関係に限らず、各種の生鮮農産品市場にも急速にその足あとを残しつつあります。高品質な園芸作物、主なところでアボカド、インゲン、トウ

続けています。国際市場とくに日本のような市場で活躍するバイヤーにとって、ルワンダ茶は、強力な生産システムと持続可能な実践に真付けられて、信頼性がありかつ高品質な選択肢となっています。

ルワンダの農産品 (下)



ルワンダの茶産業は世界でも最上級のCTC茶を生産することで知られている。

ガラシ、パッションフルーツなどが挙げられます。

他国と一線を画すものがあるとするれば、それは鮮度、品質管理そして物流の効率性の追求です。農産品が最適な状態で国際市場に届くことを保証するように、コールドチェーンと収穫後の物流インフラへの投資が行われています。

ただ地元で消費される作物を生産するだけでなく、自らを新鮮で安全に、そして高品質な農産品の信頼できる輸出先として位置付けようとしています。これは、世界で一貫性と国際基準への準拠を満たすパートナーを探す輸入業者

ににとっては、魅力的な取引相手となることでしょう。ルワンダはグローバルなパートナーを求めています。一緒にルワンダの可能性を探っていくために、ぜひ日本やほかに高付加価値市場で、ただ製品を提供するだけでなく、協働するパートナーとなる機会も提供できます。特産コーヒー、高級な茶、新鮮な野菜・果物、いずれにしてもバイヤーにとってルワンダの品質、持続可能性、信頼性への取り組みは頼るに足るものであるはずで

ルワンダの丘から世界中の商品を並べる棚やカップの中心まで、これら産品の旅は、世界の期待に優秀さで応えようと立ち上がる国を映し出すことでしよう。ルワンダから世界へ、品質と責任で世界市場に農産品を供給できるようにしていきます。

【ジョン・クロウデ・ニヨンサバ NAEB広報・広聴専門家、リーム中産連】